

大学の世界展開力強化事業 取組実績 筑波大学

【構想の名称】(タイプB-Ⅱ)

人社系グローバル人材養成のための東アジア・欧州協働教育推進プログラム。

【構想の概要】

学士課程から博士課程まで一貫した東アジア・欧州協働教育プログラムを構築し、国際社会の中で日本の役割を発信する表現力、異なる価値観をまとめる先導力、東アジア・欧州が共同して問題解決に取り組む国際協調力、国際社会の現場で活躍するための行動力を総合的に涵養する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

〈オープニングフォーラム〉

1. 《学士レベル》日本語・日本文化コミュニケーター養成(履修証明)プログラム

2月13日～15日 モスクワ市立教育大学のストリジャック准教授／リュブリャナ大学の重盛講師、ゴリアンツ文学部副部長、カ・フォスカリ大学のトッリーニ准教授と、JLCCプログラムについてうち合わせ。(於筑波大学)

3月13日～18日 リュブリャナ大学の重盛講師、文学部副部長ゴリアンツ先生とJLCC授業の開設について(於リュブリャナ大学)、カ・フォスカリ大学のトッリーニ准教授、同大学のカルヴェッティ教授とJLCCプログラムについて(於ウィーン大学)打ち合わせ。



2. 《修士レベル》日独韓共同修士(デュアルディグリー)プログラム

2013年度からのプログラム開始に向けて必要な3大学間協定や事務手続きの準備中。ボン大学のツェルナー教授、高麗大学のパク教授、チェ教授らと実務者会談をたちあげ、カリキュラムや日程などの細部を調整。3月2日～5日には参加者募集・広報活動を兼ね、日独韓の約20名ほどの学生とともに、公開準備セミナーTEACH-Interuniseminarをボンで開催。

3. 《博士レベル》現代日本国際比較研究(履修証明)プログラム

2月15日、フランシュコンテ大学マルタン人文社会科学部研究科長、マリアージュ人文学部学部長とCOMPAS-CJSプログラムについて打ち合わせ。(於筑波大学)

■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈リュブリャナ大学での日本語教育実習〉

【オープニングフォーラム】



平成24年2月14日筑波大学においてオープニングフォーラムを開催。連携大学であるリュブリャナ大学、モスクワ市立大学、ボン大学、ベルリン自由大学、高麗大学、フランシュコンテ大学、カフォスカリ大学より代表者を招聘し、各大学の連携構想についてのプレゼンテーションを実施。

【日本語・日本文化コミュニケーター養成プログラム学生派遣】

平成24年3月9日～29日、2名の学生をリュブリャナ大学に派遣。現地で2名のリュブリャナ大学生と共同研究を開始。スロベニア語講座への出席、リュブリャナ大学での研究発表、文化交流、日本文化紹介、また民族学博物館、国立美術館などを見学。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

日本語・日本文化コミュニケーター養成プログラムにおいて、平成24年3月9～29日リュブリャナ大学(スロベニア)へ2名の学生を派遣。

○ 外国人留学生の受入れ

外国人留学生の受入は平成24年度開始。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	2	9	17	23	23
学生の受入	0	9	23	23	23

注)H23は実績、H24以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 派遣する日本人学生へのサポート

派遣する日本人学生に対して、留学先のアカデミックカレンダーや単位制度の相違について十分な事前指導や、各教育組織と連携をとって留学中の状況を把握し、必要なサポートの提供を実施。

○ 受入留学生に対する語学支援とキャリアパス形成支援

受入留学生開始に向けて、留学生センター・各教育組織と連携した統一的サポート体制の調整、生活支援・日本語学習支援を行うチューター養成、国際交渉力強化プログラム(英語コース)におけるキャリアパス形成支援教育の提供を準備中。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

パンフレット作成

全体プログラム概要および各課程プログラムの履修カリキュラムについてのパンフレットを作成し、本事業に加わる各教育組織に配布。

ホームページ作成

本事業独自のウェブサイトを立ち上げ、全体プログラムおよび各課程プログラムのHPデザインを決定。これまでの取組や実施した交流プログラム公開に向けて準備中。